

高齢者インフルエンザ予防接種がはじまります!

流行する前の10月～12月中旬に予防接種を受けましょう。

インフルエンザにかかると気管支炎や肺炎などの合併症を起こしやすく、重症化する傾向にあります。ウイルスは、せきやくしゃみによって空気中に広がり、強い感染力をもっています。

早めの予防接種でインフルエンザから身体を守りましょう!

1: 予防接種の実施期間

平成28年10月1日～平成29年1月31日

2: 接種対象者(恩納村に住所登録があり、ご本人の意思確認ができる方)

(1) 65歳以上の方(接種日時点)

(2) 60歳以上65歳未満の者で、心臓、じん臓、又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活が殆ど不可能な程度の障害を有する者。

3: 実施方法

各自にて医療機関へ電話予約を行い、接種してください。

4: 接種料金

全額公費負担(自己負担なし) ※助成は1回目の接種のみ

5: 予防接種に必要なもの

(1) 予診票(事前に必要事項を記入してください。)

(2) 年齢確認のための身分証明書(健康保険証、車の免許証など)



※実施期限を過ぎると全額自費となりますので、ご注意ください。

※平成28年10月1日～平成29年1月31日の期間に65歳のお誕生日を迎える方は、随時お誕生日前に役場から予診票を送付いたします。

※対象者の方へは通知を行っていますので各自内容をご確認の上接種してください。

B型肝炎ワクチンが定期予防接種になります!

★対象者★

平成28年4月1日以降に生まれたお子さまで1歳になる前日まで

※母子感染予防のために抗HBs人免疫グロブリンと併用してB型肝炎ワクチンの接種を1回でも受けた場合は、健康保険が適用されるため定期予防接種の対象外となります。

★接種回数・期間★

生後2ヶ月から1歳の誕生日の前日までに3回接種

※1回目の接種から3回目の接種を終えるまでには、おおよそ半年間かかります。

※1歳を過ぎると任意接種(自費)になります。スケジュールをしっかり立て、できるだけ早く1回目を接種しましょう。

※対象者には個別で予診票を送付いたします。

〇 問合せ 〇 福祉健康課 母子保健係 ☎ 966-1207

マイペース健診の申し込みはお済ですか? (残り50名です)

マイペース健診とは…

【対象⇒40歳～74歳で恩納村国民健康保険に加入している方】特定健診・心電図検査・胃・肺・大腸がん検診の5項目がなんと!!6,500円で受診できるお得なセットです。

おすすめポイント

- ・個別健診のため、ご自身の都合に合わせて受診日を予約できます。
- ・胃カメラに変更しても追加料金が発生しません。
- ・その他のオプション項目を追加して気になる点を検査することができます。

※受診日の予約やオプション検査の追加については、医療機関とご相談のうえ決定してください。

※胃カメラで細胞診が必要となった場合やオプション検査を実施した場合等による追加項目に関しては自己負担となります。

健診結果について

村の保健師・管理栄養士・看護師が結果説明をさせていただきます。結果に記載されている医療用語は、とっつきにくいイメージがあり、病院・クリニックの先生の説明のみでは理解しにくい事もあるのではないのでしょうか? 恩納村では地区の担当者が健診の結果に応じた説明を丁寧に致します。この機会にぜひ専門職による一人一人に合わせた説明を聞いてみてはいかがでしょうか?

マイペース健診指定医療機関

- ・恩納クリニック(胃カメラのみ)
- ・翔南病院(胃カメラへ変更可)
- ・中部徳洲会病院(胃カメラへ変更可)
- ・中部協同病院(胃カメラへ変更可)
- ・中部地区医師会検診センター(バリウムのみ)



特定健診

- ① 身体計測(身長・体重・腹囲・BMI)
- ② 血圧測定
- ③ 尿検査(尿蛋白・尿潜血・尿糖)
- ④ 血液検査(脂質・肝機能・腎機能・血糖値)

特定健診は上記項目を数値化して生活習慣病のリスク等を調べます。生活習慣病は自覚症状が出にくい上に、症状が出てからでは重症化しているケースが多々あります。年に一度は特定健診を受診し、ご自身の身体の変化を確認しましょう。

がん検診

- ① 胃がん⇒胃カメラ又はバリウムで異常の有無を確認します。
- ② 肺がん⇒レントゲンで胸部の異常の有無を確認します。
- ③ 大腸がん⇒2日分の検便で潜血の有無を確認します。

平成26年度の沖縄県のがん検診受診率(※1)は全国平均に比べて低くなっています。また、検診受診率が低い大腸がんにおける沖縄県内の死亡率は部位別75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)(※2)のデータで全国ワースト1位(女性)・2位(男性)です。大腸がん検診は2日分の検便を提出する負担の少ない検査のためぜひ受診しましょう。

※1 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」人口動態統計による都道府県別がん死亡データ

〇 問合せ 〇 福祉健康課 健康づくり係 ☎ 966-1207 FAX 966-1266